平成２９年度　吉野ヶ里町立東脊振中学校　学校評価計画

1　学校教育目標	2　本年度の重点目標
未来にはばたき、自立する生徒を育成する	①　学習の構えを徹底し、学力向上を図る。 ②　いじめ防止と不登校への対応の充実など人権教育を中核に据えた生徒指導や特別支援教育の充実を図る。 ③　小中連携による校内研究の充実を図る。 ④　個性を伸ばす部活動の推進に努める。

3　目標・評価

①　学習規律の徹底と学力向上

領域	評価項目	評価の観点 （具体的評価項目）	具体的目標	具体的方策
教育活動	●学力向上	確かな学力の定着と家庭学習の充実	・１時間ごとに，「めあて」と「まとめ・振り返り」を全教科で１００％実践する。 ・全教科で，学び合う活動を取り入れた展開を実践する。 ・学習規律の基盤となる「学習の心構え」を徹底する。 ・定期テスト前に学習する範囲や内容を具体的に提示し，家庭学習の深化を図る。	・黒板に「めあて」「まとめ」のカードを貼り、それを明確にした授業を行う。 ・学習指導案に「めあて」「課題解決」「まとめ・振り返り」を明記する。 ・一人３回の授業参観を行い，学び合う活動の実践法について研究を深める。 ・定期テスト前に，学習チェック表を配布し，計画的に学習が進められるようにする。
教育活動	●学力向上	学習に対する興味・関心等を呼び起こし、豊かな心をはぐくむ、自由な読書活動の充実	・学年、教科との連携を図る。 ・図書資料の充実と環境づくりに努める。 ・朝読書の充実を図り、１人１か月に３冊貸出、年間７，０００冊の貸出をする。	・学年・教科と連携し、図書に関する情報発信の機会を増やす。 ・生徒が親しみやすく、利用しやすい環境づくりに努める。 ・学級担任と連携をし、朝読書の充実に努めると共に、委員会と協力し、定期的なイベントを開催し、本に興味をもたせる。
教育活動	●教育の質の向上に向けたＩＣＴ利活用教育の実施	ＩＣＴ利活用による学習内容の理解促進	・電子黒板等を利用した授業づくりを行い、電子黒板の活用率が90％を上回る。 ・ＩＣＴ利活用に関する職員研修を年２回以上実施する。	・電子黒板の操作・活用についての全職員研修会を実施する。 ・ソフト活用スキルアップについての小規模研修会を実施し、活用力向上を図る。

②　生徒指導・特別支援教育の充実

領域	評価項目	評価の観点 （具体的評価項目）	具体的目標	具体的方策
教育活動	●生徒指導	生徒理解と開発的な生徒指導の充実	・職員間で密な情報交換を行い、全職員で共通理解を図る。 ・毎週末に生活アンケートを実施し、いじめや問題行動の早期発見と対応を行う。 ・学校生活が楽しいと回答する生徒が前年度より５％上回る75％にする。	・生徒指導部会を定期的に実施し、情報共有及び生徒理解に努める。 ・いじめへの組織的な対応体制を作り、未然防止に向けて、定期的に職員間の情報交換を行い、共通理解を図る。 ・出番・承認・称賛による開発的生徒指導の充実を図り、生徒の自己肯定感を高める。
教育活動	●心の教育 （人権教育）	人権意識を高め合い、自他を尊重する心情と行動力を持った集団の育成	・人権に係る道徳教育や学級活動に取り組み、差別を許さない意識と実践力を育てる。 ・人権集会などを工夫し、自他を尊重する心情を育てる。 ・職員研修を年2回実施することや校外研修に一人1回は参加することで、職員の人権･同和教育に係る意識と指導力を高める。	・道徳や学級活動の資料を共有し、実践を行う。また、指導内容等を通信などで家庭へ伝え、保護者との連携に努める。 ・人権集会や平和集会を生徒主体で開催し、人権意識や実践力を高めるとともに、生徒が達成感を味わえるようにする。 ・校外での人権･同和教育に係る研修会を職員に周知し、参加を促す。

③　小中連携による校内研究の充実

領域	評価項目	評価の観点 （具体的評価項目）	具体的目標	具体的方策
教育活動	●心の教育 （道徳教育）	重点内容項目 ・自主、自立、自由と責任 ・相互理解と寛容	・小中合同研修会を年３回実施し、共通理解と協働活動を推進する。 ・小中合同の体験活動を通して、生徒の自己肯定感を高める。 ・校内における公開授業を、全職員一人1回行う。	・月1回の小中連携推進委員会を活用し、研修会のもち方や、体験活動等の企画を行う。 ・研究授業の際には、相互に参観できるよう、計画を立てる。

④　個性を伸ばす部活動の推進

領域	評価項目	評価の観点 （具体的評価項目）	具体的目標	具体的方策
教育活動	●健康・体つくり	適切な体育・健康に関する活動の実践	・体力テストを年２回以上実施して、体力向上を実感させる。 ・体力テストの結果をもとに全ての生徒に個人目標を持たせ、実践への意欲を高める。	・保健体育の授業で、定期的に体力テストを行い、体力の向上を実感させ、運動有能感をもたせる。 ・体力テスト項目について、県や国の平均などを基に自分に適した目標を設定させる。

●は共通評価項目、○は独自評価項目